

## 令和5年度 地域きずな座談会 ⑧

- 1 日 時 令和6年3月6日(水)
- 2 場 所 総合社会福祉センター
- 3 出席者 幸町一丁目～三丁目  
(住民4名、在宅介護支援センターやすらぎ2名、三沢市介護福祉課1名、社協4名)
- 4 懇談記録

### ■地域の現状・よいところ

- ・高齢者が歩いて行動できる範囲に、官公庁、金融機関、郵便局、病院、スーパー、学校が近くにあり生活するのにとても恵まれた地域。
- ・空港、電車の駅があり住みやすい町であるが、全体的に若い人は減っている。
- ・幸町一丁目は高齢者が元気。現在100歳の方2人が草刈りなど、幸町集会所を管理してくれている。きれいに管理されており、自慢の集会所である。
- ・幸町集会所を管理している人が高齢のため、もし管理する人がいなくなれば、市に返すことになり、そうなると、使いたいときは毎回申請を出して借りなければいけなくなる。
- ・一丁目の表側は商店街の為、住んでいる人は少ない。アパートに若い人たちが住んでいるが、町内会の加入率も低い。
- ・民生委員として一人暮らし高齢者の名簿をみたときに、ほとんどが町内会に入っておらず、中には人と関わりたくなくて町内会に入らない人もいるため、訪問しづらいつと感じることもある。
- ・高齢者で一人暮らしになると、町内会の手伝いができなくなるから退会するという方もたくさんいる。広報は配布されないが、ゴミの予定表だけは渡すようにしている。
- ・班長になると集金業務が大変。現在、班長になる人がおらず、本当は交代制だが、ずっと同じ人がやっていたりする。
- ・新しく4軒の町内会加入があった。子どももいるし、今後は楽しみだ。

### ■地域の交流・集いの場

#### ○祭りについて

- ・幸町で一番の行事は三沢まつり。町内の子どもだけでなく、他の町内の子どもも参加している。山車を作っている人で町内の人は2、3人、他は前に幸町に住んでい

た人たち。実家が幸町だとか、家を出て別の町に家を建てたが、祭りは生まれた所で、と手伝いに来ている。

- ・昔は、幸町一丁目、三丁目、平畑の3つの町内合同で祭りに参加していたが、現在は幸町一丁目と平畑がそれぞれで参加している。
- ・コロナ禍で町内行事は新年会だけやっていた。今年再開しようと思ったが、高齢化や人が集まらない等でできなかった。防災訓練も高齢の方ばかりでできていない。
- ・クリーン作戦の参加率は良い。
- ・幸町の寺子屋について。
  - 参加者は12,3人、平均年齢は85歳。
  - 一番人気は小川原湖青年の家。小物づくりができる、運動できる、食事がおいしい、バス送迎があるのが魅力的。
  - フラワーアレンジメント、新年のお楽しみ会、料理教室、干支作りや、絵手紙、三月は次年度の行事を話し合っ自分たちに合うものを行っている。
  - 体を動かすことが好きな方が多く、寺子屋の始まりにはラジオ体操をしている。ストレッチ体操用の音楽テープを作成し、簡単なレクダンスも始めた。
- ・昔はどこの地域の寺子屋に参加しても良かったため、仲間がいれば遠くてもそこへ参加していた。集会所ができてからは、その地域に入ってくださいとなった。
- ・幸町の老人クラブは高齢化により解散した。寺子屋はあるが、参加者は減る一方だ。今は70代でも仕事をしている人がいて、なかなか入ってこない。寺子屋も老人クラブも引っ張ってってくれる人がいないと自然と解散になってしまう。

## ■地域の困りごと、課題

- ・ゲートの近くということもあり、飛行機よりも、車の騒音がひどい。
- ・暮らすにはとても良い場所だが、若い人たちは町外に出ていく人が多い。借地に家が建っているところも多く、少し面倒なところがある。空き家も多い。
- ・難聴者に対する対策をとった講習会や会合を開催してほしい。
- ・災害時の難聴者への対策
- ・ポケットパークの大木からの枯葉で、毎年掃除が大変。今年ようやく枝払い等の対策をもらった。福祉センターの植木も伸びてくると死角ができて危険である。
- ・福祉センターの柿の木について、せっかく実った柿を誰でも取れるようにしたらどうか。

## ■その他

- ・社協まつりはとても人気で楽しみにしている人も多いと思う。規模は小さくても年2回開催できないのか。
- ・コロナの制限もなくなってきたので、いきいきデイセンターとおおぞら児童館で交流する機会を持ったらどうか。高齢者にとってパワーをもらえると思う。
- ・座談会の開催曜日、時間を変える事で様々な方に参加してもらえるのではないか。

■避難行動要支援者名簿と個別避難計画について、介護福祉課より別紙資料にて説明。